

夢があり誇りのもてる 新しいまちづくりがスタート

第8次鳥取市総合計画

まちづくりの方策を明らかに

本年度から「第8次鳥取市総合計画」による新しいまちづくりがスタートします。この計画は、合併後初めての総合計画として、21世紀を展望し、市民のみなさんと一緒にまちづくりを進めるための方策を明らかにしています。

総合計画の期間中（平成18～27年度）に、特に戦略的に取り組むものについて、次の3つの視点に立ち「夢があり誇りのもてる20万都市づくりビジョン」として、下記の11のテーマにより総合的、一体的に推進します。

- ▽21世紀の発展を支える人づくり
 - ▽高速道路を活かしたまちづくり
 - ▽合併を活かしたまちづくり
- 「実施計画」で向こう30年の具体的な事業を示す**

実施計画では、基本構想・基本計画に掲げる施策を実現するための具体的な事業を明らかにしました。

ここでは、市民の自治会活動やボランティア団体、NPOの活動支援などによる地域コミュニティの充実・強化や、観光客の倍增の充実な環境施策、若者の定住、子育て支援、生涯を通じた健康づ

1 広域交流観光の展開

- 「砂の王国・鳥取砂丘」の実現
- 城下町、温泉街など満足度の高い観光地の創出 など
- 観光客入り込み客数
151万人(H16)⇒300万人(H27)
- 実施計画では
 - ▷砂丘の特性を活用した通年型・滞在型イベントの開催、観光情報の発信
 - ▷観光ボランティアの養成などによる「もてなし観光」の推進、観光大学の支援
 - ▷鳥取自動車道の整備にともなう地域振興策（市道改良ほか） など

3 環境先進都市の実現

- 市民一体となったごみゼロの推進
- 地球温暖化防止に向けた環境施策の推進 など
- 資源回収率
12.4% (H16) ⇒ 50% (H27)
- 実施計画では
 - ▷びん・缶・古紙などの再資源化（奨励金）、古紙類の継続委託収集、デポジット制度による空き缶回収（鳥取砂丘）
 - ▷ごみ分別の指導、ごみ減量化の普及・啓発活動のほか、不法投棄の監視などを行う「環境推進員」の設置 など

2 情報先進都市の実現

- CATVなどの高速ネットワークを活用したサービスの展開
- 最先端の電子自治体の構築 など
- CATV加入件数
35,000件(H16)⇒58,000件(H27)
- 実施計画では
 - ▷地区公民館、小・中学校などの高速インターネット環境の整備などによるITの促進
 - ▷電子申請システムの構築、行政手続オンライン化の推進 など



4 人材誘致・定住対策の促進

- 若者に魅力あるまちづくりの推進
- 雇用の創出、人材誘致事業の推進 など
- 人材登録制度への登録者数
制度なし⇒50人(H27)
- 実施計画では
 - ▷UJIターン希望者が求める情報の収集と、希望者に対する積極的な情報提供などによる定住誘致活動
 - ▷グリーンツーリズムを進めるための推進協議会の設立、モニターツアーの実施 など



5 子育て・教育先進都市の実現

- 優れた子育て環境の整備
- 地域に生きる活力ある学校づくり など
- 保育園待機児童数
ピーク時79人(H16)⇒通年0人(H27)
- 実施計画では
 - ▷病気回復期で集団保育が困難な乳幼児の健康支援一時預かり
 - ▷市民集会の開催などによるモラルやマナー、ルールを大切にす風土（人）づくり
 - ▷30人学級の推進、複式学級の解消
 - ▷スクールガードボランティア制度の実施などによる学校安全の推進 など

6 生涯健康都市の実現

- 生涯を通じた健康づくりの推進
- 地域福祉を支えるネットワークの構築 など
- 運動する習慣のある高齢者の割合
18.3% (H17) ⇒ 40%以上 (H27)
- 実施計画では
 - ▷介護予防サービスに係るアセスメント、予防プラン策定、実態把握、高齢者虐待などの早期発見・防止などを行う「地域包括支援センター」の運営
 - ▷健康教育・健康相談、健康診査、機能訓練、各種予防接種などによる生活習慣病の予防 など